

学力向上の取組について

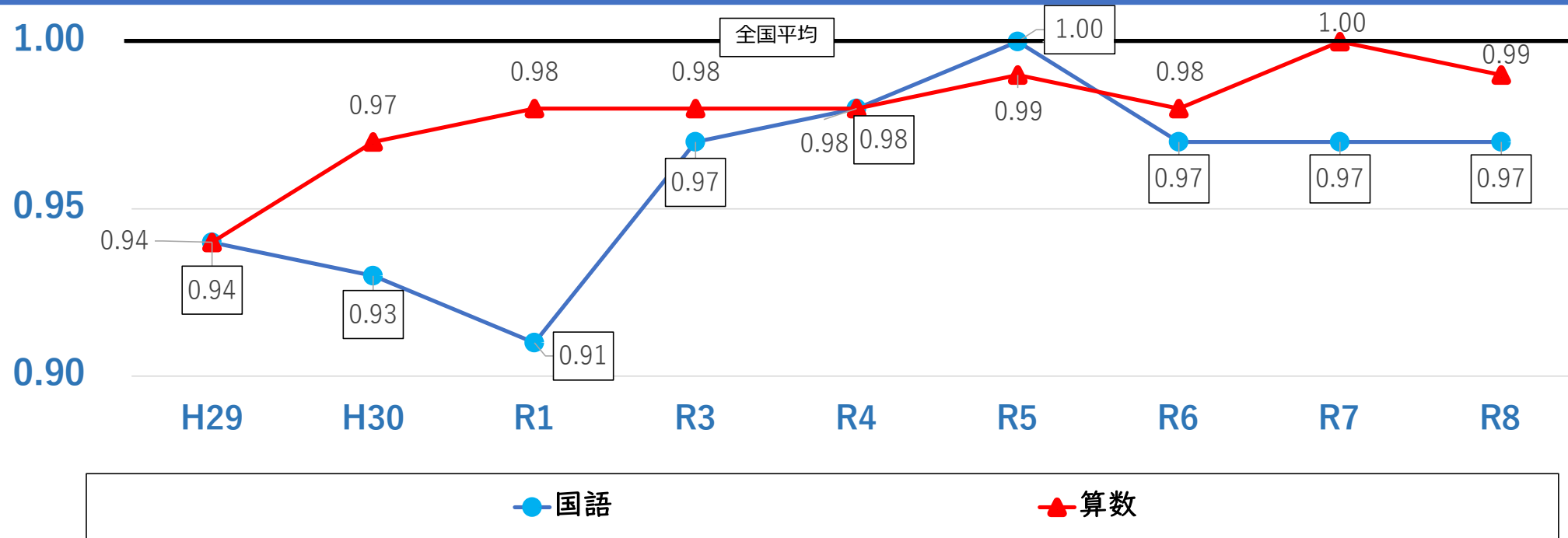
令和8年9月11日
教育委員会事務局

全国学力・学習状況調査 大阪市の結果（小学校）

《対全国比の推移》

	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
国語	0.94	0.93	0.91	0.97	0.98	1.00	0.97	0.97	0.97
算数	0.94	0.97	0.98	0.98	0.98	0.99	0.98	1.00	0.99

※全国（公立）の平均正答率を1としたときの大阪市の割合を「対全国比」として表しています。
 ※平成30年度調査までは、A・B、2種類が出題されていたため、問題数を考慮した加重平均で「対全国比」を算出しています。



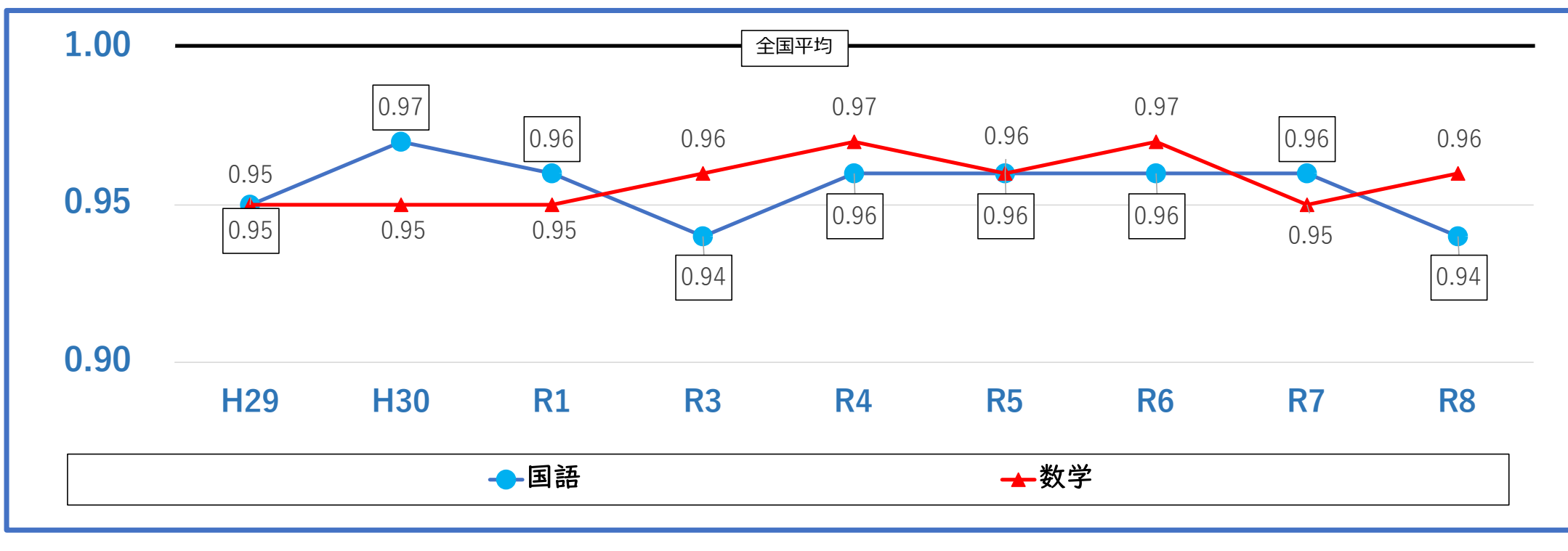
全国学力・学習状況調査 大阪市の結果（中学校）

《対全国比の推移》

	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
国語	0.95	0.97	0.96	0.94	0.96	0.96	0.96	0.96	0.94
数学	0.95	0.95	0.95	0.96	0.97	0.96	0.97	0.95	0.96

※全国（公立）の平均正答率を1としたときの大阪市の割合を「対全国比」として表しています。

※平成30年度調査までは、A・B、2種類が出題されていたため、問題数を考慮した加重平均で「対全国比」を算出しています。



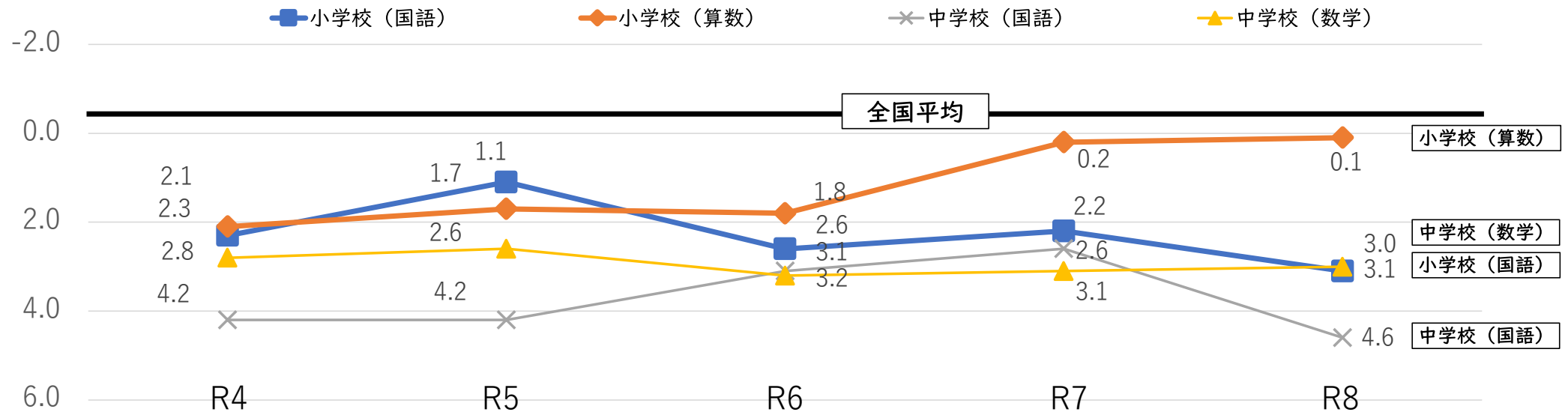
全国学力・学習状況調査における区分Ⅳの児童生徒の割合の推移

※ 数値は区分Ⅳの児童生徒の割合を示しています。

小学校	国語	R4	R5	R6	R7	R8
	全国	20.9	24.0	24.6	17.8	22.2
	大阪市	23.2	25.1	27.2	20.0	25.3
	差	<u>2.3</u>	<u>1.1</u>	<u>2.6</u>	<u>2.2</u>	<u>3.1</u>
中学校	算数	R4	R5	R6	R7	R8
	全国	23.7	19.5	20.0	20.1	21.6
	大阪市	25.8	21.2	21.8	20.3	21.7
	差	<u>2.1</u>	<u>1.7</u>	<u>1.8</u>	<u>0.2</u>	<u>0.1</u>
中学校	国語	R4	R5	R6	R7	R8
	全国	21.4	19.4	18.9	22.5	19.5
	大阪市	25.6	23.6	22.0	25.1	24.1
	差	<u>4.2</u>	<u>4.2</u>	<u>3.1</u>	<u>2.6</u>	<u>4.6</u>
中学校	数学	R4	R5	R6	R7	R8
	全国	19.0	17.6	20.3	23.8	19.4
	大阪市	21.8	20.2	23.5	26.9	22.4
	差	<u>2.8</u>	<u>2.6</u>	<u>3.2</u>	<u>3.1</u>	<u>3.0</u>

【学力に課題の見られる児童生徒（区分Ⅳ）の割合における全国との差の経年比較】

※大阪市と全国との差の値は、小さいほど良好な結果を表しています。



学力向上事業の主な取組

ブロック化による学校支援事業

国・算(数)学びサポーターの配置

施策 7 - 4

趣旨・目的

教育振興基本計画の基本的な方向である「誰一人取り残さない学力の向上」に向け、継続して学力に課題の見られる児童生徒（区分Ⅳ）の割合が多い学校（重点支援校）120校程度に対し、「国・算(数)学びサポーター」を配置し、児童生徒の基礎学力の定着及び学力向上を図る。



取組概要

小中学校及び義務教育学校の基礎学力を確実に定着させ、その後のつまずきを縮減し、自ら学ぶ力を育成するために、小学校2・3年生の国語・算数及び中学校1年生の国語・数学の授業中において、学力の伸び悩む児童生徒を見守り、必要に応じた個別支援を充実させる。

R8より全市展開(重点支援校120校程度)

「学力の伸び悩む児童への支援」等の研究【R6～より拠点校4校にて実践】

学力の伸び悩む児童に、担任が中心となり、継続的に寄り添い関わっていく指導の工夫や学級における学習規律の確立を通して、児童の自尊心を高め、学習意欲を向上させるとともに、学力の向上を図る。